

いつも熊本日日新聞を ご愛読いただきありがとうございます。

日ごとに寒さも穏やかになり、春らしい陽気となってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。道路脇を見てみると菜の花は満開、つくしも顔を出していて気分もほっこり…。この号が出る頃には桜の花も満開となり、お花見をゆっくりと楽しんでいることでしょうか (*^^*)

TARAGI YUNOMAE MIZUKAMI OKAHARU

OKAHARU TARAGI YUNOMAE MIZUKAMI

OKAHARU TARAGI YUNOMAE MIZUKAMI

OKAHARU TARAGI YUNOMAE MIZUKAMI

球磨ん
みづかみ

地域と読者の架け橋

編集・発行
熊日多良木販売センター
球磨郡多良木町大字多良木 356-1
TEL 42-3355 FAX 49-1726
http://www.taragi.com/

熊日湯前販売センター
球磨郡湯前町中里 1830 TEL 43-2151
代)小出堅太郎 石田敏郎 尾前竜二
那須信一 編集:岩水由香

当社のホームページがリニューアルしました。
上記ドメインもしくは「熊日多良木販売センター」
を検索してみてください。

一人で料理が作れるように



第4回「子どもクッキング教室」が3月12日に、水上村保健センター調理室でありました。第1回は「自分でお昼ご飯を作ろう」第2回は「基本料理」第3回は「クリスマスのご馳走を作ろう」そして第4回は「自分で弁当を作ろう」をテーマに16名が参加し、頑張って調理しました。料理のメニューは、①ご飯②マグロのニラ玉焼き③揚げない唐揚げのおかかチーズロール④ほうれん草のソテー⑤人参とツナのごまサラダで、3班に分かれて作りました。児童たちは、出来た料理を小さい弁当や大きな弁当に彩りも考えながら詰めていました。水上村職員で栄養士の中村和架さんは「自分で色々な料理を作れるようになってほしい。そのなかで調理方法を学んだり、他国の料理にも興味をもってほしい。そして食材も自分で選べる力をつけてほしい」と話されていました。



多良木町の駅前交差点に巨大な壁画が、このほど出現しました。これは多良木町商工会青年部（部長：佐藤光さん）と、多良木高校美術部（顧問：中島禎先生、部長：日野ゆりかさん）のコラボレーション（協働）企画で、今年で2回目。高さ1.8メートル、幅0.9メートルの木製パネルを7枚繋げて、総幅6.3メートルの特製キャンパスには、ブルートレインや百太郎ツツジ、パラグライダーに臼太鼓踊りや球磨焼酎など、同町の郷土や名物、風習などが描かれています。

同校美術部は他の部活と掛け持ちしている部員がいることもあり、製作期間が短くて大変だったそうです。「でも年間活動の中で最も、部員同士が仲良くなれた取り組みでもありました。この絵を見て観光客が沢山きてくれるといいですね」と、日野部長はこの企画に対する活動や思いを話してくれました。

一方青年部は3年前にも、多良木中学校とも別の場所で同様の企画を実施したこともあり「パネルアート事業」として取り組んできています。佐藤部長は「町全体、特に駅前の景観を盛り上げようと、地元の高校生にお願いしました。彼らにもこういった活動に参加してもらい、同校が地元密着な高校であることをPRしてもらえれば」と、この企画を説明してくれました。なおこの駅前のスペースには、プランターに季節のお花を植えたり、クリスマスシーズンにはイルミネーションを飾ったりなど、シーズンごとの様々な企画に取り組んでいますので、足を止めて是非ご覧になって下さい。

COOL 美図 Vol.11
COOL = かわいい 美 = beautiful



荒川千尋さん (23歳)
あまぎり町

- ★趣味 ドライブ、音楽鑑賞
- ★特技 ギター『ちょっとだけ弾けます (笑)』
- ★マイブームは？
最近、釣りを始めました
- ★今、頑張っていることは？ 仕事
- ★好きな歌手は？
THE イナズマ戦隊
- ★休日は何をしていますか？
買い物、家でゴロゴロ (笑)
- ★今までで一番思い出に残っていることは？
大学生時代に入っていた軽音部での活動
- ★これからの目標・夢は？
もっと勉強して、立派な作業療法士になりたいです！
- ★最後に一言どうぞ
作業療法士は楽しいですよ～！



皆さんは「アイスプラント」という植物をご存じですか？中性脂肪を抑制する成分や、血糖値を下げる効果があるなど、栄養豊富なミネラル野菜として注目されています。筆者は湯前駅に隣接する湯〜とびあで、初めて実物を拝見させていただきましたが、湯前町では椎葉茂さんが栽培されています。このアイスプラントはアフリカ原産の植物で、葉や茎の表面に無数の水滴が付いたような独特な見え方をしています。この水滴に見えるものは、実はアイスプラントの葉の一部で、アイスプラント自身が吸い上げた塩分などの結晶だそうです。椎葉さんも普段は真水をかけられますが、収穫前などには、海水や海水に近い濃度の塩水をかけられます。また栽培も種から発芽するまでが難しいそうです。

そしてそれを美味しく頂く方法としては、調理せず生のまま、酢味噌やドレッシング、マヨネーズなどをつけて食べるのが一番だとか。またプチプチとした食感を活かして、天ぷらにしたり、太めの葉っぱならば、ご飯を包んでお寿司みたいにしても、ハムなど肉類に巻いて食べるのもお勧めだそうです。皆さんも是非お試しあれ！

湯〜とびあでは1袋108円で販売されています。また、ゆのまえ温泉『湯楽里』でも、食事メニューの中の1品として出されることもあるそうです。

球磨ん文化財巡り NO.12

「宮麓庚申堂」
あさぎの町指定
有形文化財

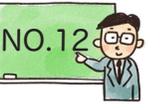


この庚申堂は、このあたりに存在したという黄檗宗大乘寺の堂といわれています。大乘寺は、明治維新後に廃寺となりました。堂の中に安置されている木造青面金剛立像は、庚申信仰に由来する遺物で、球磨郡内では、庚申石塔に比べて数少なく貴重な像です。また、木造十二神将像は、薬師如来に従う眷族で、現在では11体が残っています。もとは、薬師如来像や日光・月光菩薩像も存在していたと思われます。



木造十二神将像

新聞記事を楽しむ！～「なつめを持って学校へ」～



今日は、漆塗りのなつめ（茶器）を持って学校へ向かう。はたして、「商品について学ぶ商品教育を十分行っているか、伝えているか」と考えてしまう。

12日、大会出場のため長崎県大村市へ向かう途中、陶磁器の街、有田を訪ねた。5月の陶磁器市の賑わいとは違った落ち着いた静かな街並みを歩いた。後日、かつて250億を売上げていた陶磁器が昨年は43億と激減している現状を聞き、衝撃を受けた。また、その減少について、「伝統の色絵や光沢にこだわり、消費者のニーズに合致してなかった」との分析にも驚いた。

かける。執筆のきっかけは、かつて趣味としていた廃屋巡りだった。大みそかに食事の途中で逃げ出したと思われる部屋があったり、ある歌手の子役だったころの雑誌が散乱していたり・・・『ここに住んでいた人たちは、どんな思いでふるさとを捨てたのか』。農村を離れざるを得なかった人々の思いを込めて2001年に初演。母や祖母が夜なべして繕ってくれた靴下に「愛情」という価値を感じていた幼少時とは異なり、使用年数の経過とともに物の価格は下がり、使い捨ての時代になった。】を読み返した。使い捨て時代。数百年間培われた知識、知恵の伝統文化の街、有田が押し流されてしまうのではないかと。伝統産業の廃業と職人の失業は避けられないのでは。「これでいいのか」。商品の魅力や見どころを伝えなくては。「新聞切抜きを配付しよう。」「実物の見どころを説明しよう。」と心新たにした。

(原稿提供：多良木高等学校 川北禎一先生)

残念な思いで、2月4日、熊日の芸能、劇作家で演出家の倉本聰さんの切抜き記事、「1977年から北海道・富良野で暮らし、1月からの舞台『屋根』の再演で、『消費社会の都市が幅を利かせて日本を動かし、食糧を生み出す農村は疲弊し崩壊していく。このままでもいいのか。』と現代の日本人に問題を投げ



母校へ還暦記念同窓会より 寄付金贈呈

3月7日に、多良木中学校昭和45年度卒業生(344名)が、昨年11月に行われた還暦記念同窓会(実行委員長 豊永好人さん・事務局長 源嶋千洋さん)の会費の一部を教育活動に役立てて欲しいと同校を訪れ、栃原秀明校長へ寄付金を贈呈されました。「多良木中の先輩たちは何年何十年経っても母校への思いを忘れない。今の生徒にもその気持ちをお伝えしたい」と校長は話していました。

生徒の教育活動や図書購入などに役立てたい」と栃原校長。この同窓会は昨年11月22日に3名の恩師を迎え、全国各地から集まった仲間が143名参加、多良木町の新辰巳にて盛大に開催されました。実行委員長の豊永さんは「みんな母校への思いは熱い。これからも多良木中卒業生として陰ながら見守っていききたい。学校教育に役立ててもらえればと思います」と話されていました。

「卒業式」 ～いっぱい ありがとう～



3月11日(金)に卒業証書授与式を行いました。今年度は、小学部2人、中学部3人、高等部10人が卒業しました。

卒業証書を堂々と受け取ることができた15人の卒業生。「別れのうた」では、本校オリジナルの曲「いっぱい ありがとう」をみんなで手話を交えて歌い、涙あふれる感動的な場面となりました。

高等部の生徒は、これから地元で働いたり、福祉事業所を利用したり、それぞれに新しい生活が始まります。新たな場所で、新たな人との出会いを大切に、それぞれ「夢」や「希望」を抱き、輝きながら充実した生活を送ってほしいと願っています。

(原稿・写真提供：球磨支援学校)

暖談なあ

◆寒さが少しづつ薄れるこの季節。三寒四温の言葉がひときわ実感されます。野山の緑も少しずつ濃くなっていきます。◆今年も人吉・球磨地区はじめ、各地でにぎわったひな祭り。お内裏様おひな様のすぐ下の段で、三人官女が伝統の美を際立たせていました。◆三月にちなみ三のつく熟語を辞書で調べました。知、仁、勇を表す三徳とか、結婚式で新郎新婦が杯を交わす三三九度など、いい意味で使われる言葉より、マイナスイメージの方が多いた。◆舌先三寸で他人をだましたり、三拝九拝してお金を融通してもらったあげく踏み倒すなど、うさん臭いのがいくつも。◆おっと、そんな場合にすがりたい相良三十三観音は忘れられませんか。◆人の生きざまも性格も三人三様。つまるところ自分の目をしっかり持ちなさいということか。私たちが凡人は、せいぜい早起きは三文の徳を心掛けますか。(X)

多良木警察署だより

新入学期の交通安全!!

- 1. 黄色いランドセルカバーの 新入学児童に優しい運転を!!**
新入学児童が初めて保護者を離れて通学を始める時期となります。子どもを見かけたら速度を落とし、動きに十分注意して思いやりのある運転をしましょう。
- 2. 家庭の中から交通安全!!**
大人が交通ルールを守り、子ども達の模範となる行動を。
- 3. お子さんと一緒に通学路を歩いてみましょう!!**
子どもの目線で危険な場所を見つけ、どのようにすれば安全なのかを子どもと一緒に考え、交通ルールを教えることが大切です。

※地域一体となって子ども達の交通安全を守って行きましょう!!

(原稿提供：多良木警察署)

お知らせ

(詳細は3月18日の朝刊をご覧ください)

熊本日日新聞は4月3日(日曜)からの紙面刷新に合わせて、従来は「**総合版**」と「**セット版(朝刊+夕刊)**」に刷り分けていた朝刊を**共通化**します。セット版朝刊の題字下には「朝刊」の文字が入らなくなります。共通化すると、刷り分けしませんので輪転機に余裕が生まれます。その分、季節の花や観光地の記事・写真などでお客様のご要望が多かった、カラーの紙面を増やすことができます。また、人気がある「ハイ!こちら編集局」のコーナーを朝刊に移すことで夕刊のスペースに余裕ができます。そうした分を新しい企画やコーナー造りに充てられます。具体的には夕刊一面に「ニュース速報」のコーナーが新設され最新ニュースをコンパクトにお伝えします。またお客様の生活や趣味などに役立つ情報も充実させますので、朝刊のみのご購読との価格差以上のメリットが出るよう生まれ変わります。

次回の発行日は4月9日(土)です。お楽しみに!!